

緩衝ネット付飛行場
使用者手引き
(第 2 版)

福島ロボットテストフィールド
令和 5 年 12 月 27 日

改訂履歴

版	施 行 日	内 容	作 成
1	令和 3 年 4 月 1 日	新規作成	技術課 副主任 菊 地 康 仙
2	令和 6 年 1 2 月 2 7 日	新規フォーマットへの改訂 ネット昇降操作の見直しの反映	技術課 課長 宮本信太郎

目 次

1	施設概要	1
1. 1.	基本情報	1
1. 2.	設置位置	3
1. 3.	写真	3
1. 4.	使用事例	4
2.	施設・設備詳細	5
2. 1.	建設図面	5
2. 2.	付属機器と操作手順	6
(1)	ネット集中制御盤（緩衝ネット昇降操作）	6
(2)	照明設備	6
3	利用上の注意	8

1 施設概要

1.1. 基本情報

基本情報

名称	緩衝ネット付飛行場	
エリア	無人航空機エリア（南相馬）	
メーカー名	-	
メーカー型番	-	
導入年	2019年	
仕様		
	主要諸元	・ 150m×80m×H20m（有効高さ15m） ・ ネット：高強力・高耐候ポリオレフィン（φ2.4×120mm目） ・ 芝：ロングパイル人工芝 ・ 無人航空機落下受止試験装置の設置インターフェースあり ・ 出入り口 - 幅4.0m×高さ3.5m：2か所 - 幅14m×高さ6.0m：1か所
	飛行可能エリア	・ 150m×80m×15m（屋内扱い）
	施設に含まれる設備、機器	・ 屋外水道×1か所 ・ 照明設備 ・ コンセント盤×6か所 ・ HUB収納盤×4か所
	保存データの形式・アウトプット	-
事前に用意いただく必要のあるもの	-	
使用に必要な免許・資格	-	
利用上の注意	・ 風速15m/s以上で使用中止 ・ 飛行場内への車両進入禁止	

基本情報（続き）

名称	緩衝ネット付飛行場	
貸出単位	全面、半面、1/3	
貸出可能な数	1	
使用料金		
1時間につき(昼間)	-	
1月につき	-	
全日	-	
午前・午後	(全面利用)	¥55,600
	(半面利用)	¥29,100
	(1/3利用)	¥20,200
1時間につき(夜間)	-	
夜間	(全面利用)	¥66,700
	(半面利用)	¥34,900
	(1/3利用)	¥24,200
超過(1時間につき)	(全面利用)	¥18,100
	(半面利用)	¥9,500
	(1/3利用)	¥6,600
問合せ先	福島ロボットテストフィールド 技術課 TEL0244-25-2476	

備考

(1) 使用単位の「午前」、「午後」、「夜間」、「全日」、「超過時間」は次のとおりです。

- ◎午前：9時～13時
- ◎午後：13時～17時
- ◎夜間：17時～21時
- ◎全日：0時～24時
- ◎超過時間：0時～9時まで及び21時～24時までの間の1時間

(2) 次のいずれかに該当する場合には、使用料と同額を加算します。

- ①営利の目的で入場料、受講料、会費等を徴収して行事を開催するとき
- ②商品販売、商業宣伝等の営利的性格を有する行為のために使用するとき

(3) 準備のために使用する場合には、使用料を70%に減額します。

(4) 日をまたいで2日以上継続使用する際、展示物や器材等の保管のためであれば、夜間～早朝の使用料は徴収しません。

(5) 施設に含まれる設備、機器において(★)マークのついたものは、使用時に別途費用が発生します。詳細は対応する使用者手引きを参照ください。

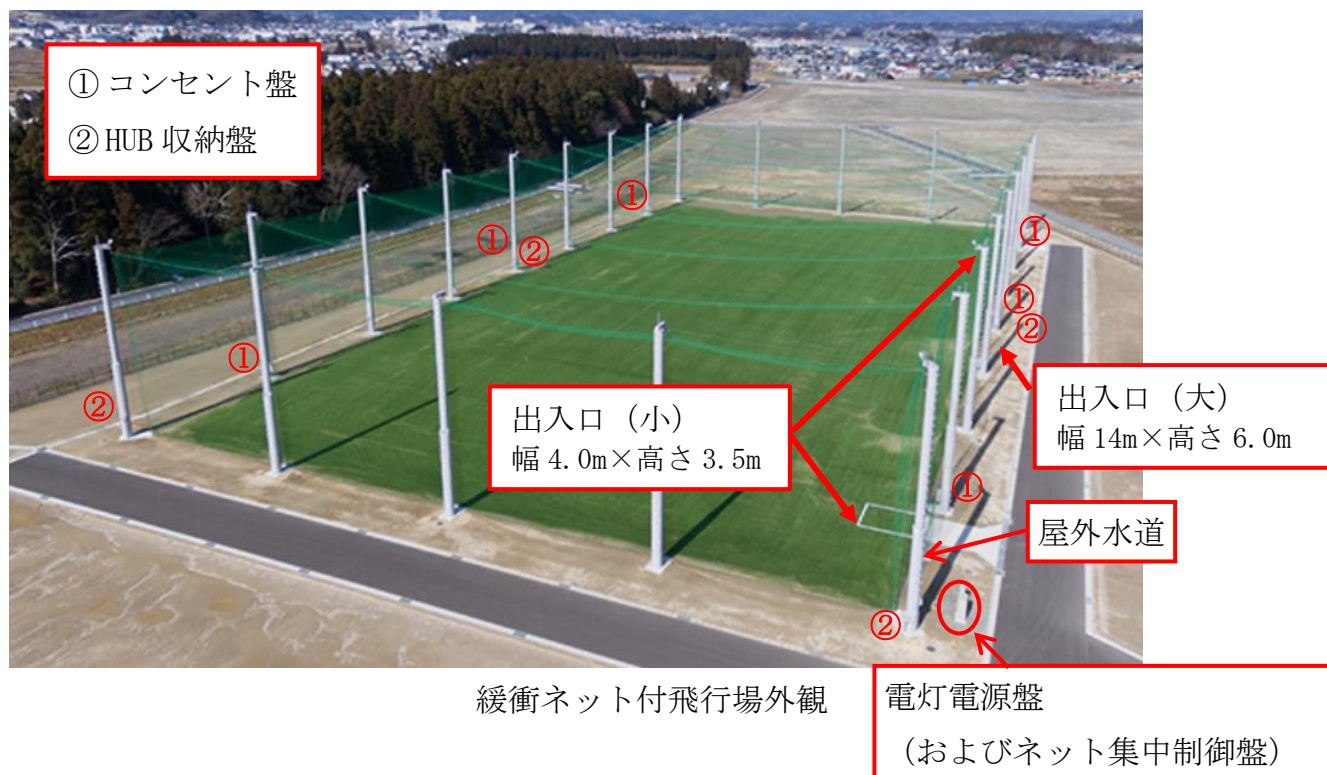
1.2. 設置位置

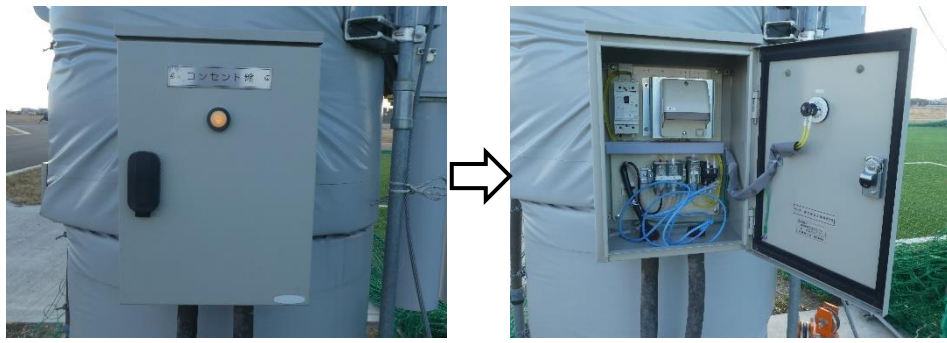
無人航空機エリア



緩衝ネット付飛行場設置位置

1.3. 写真





① コンセント盤



② HUB 収納盤

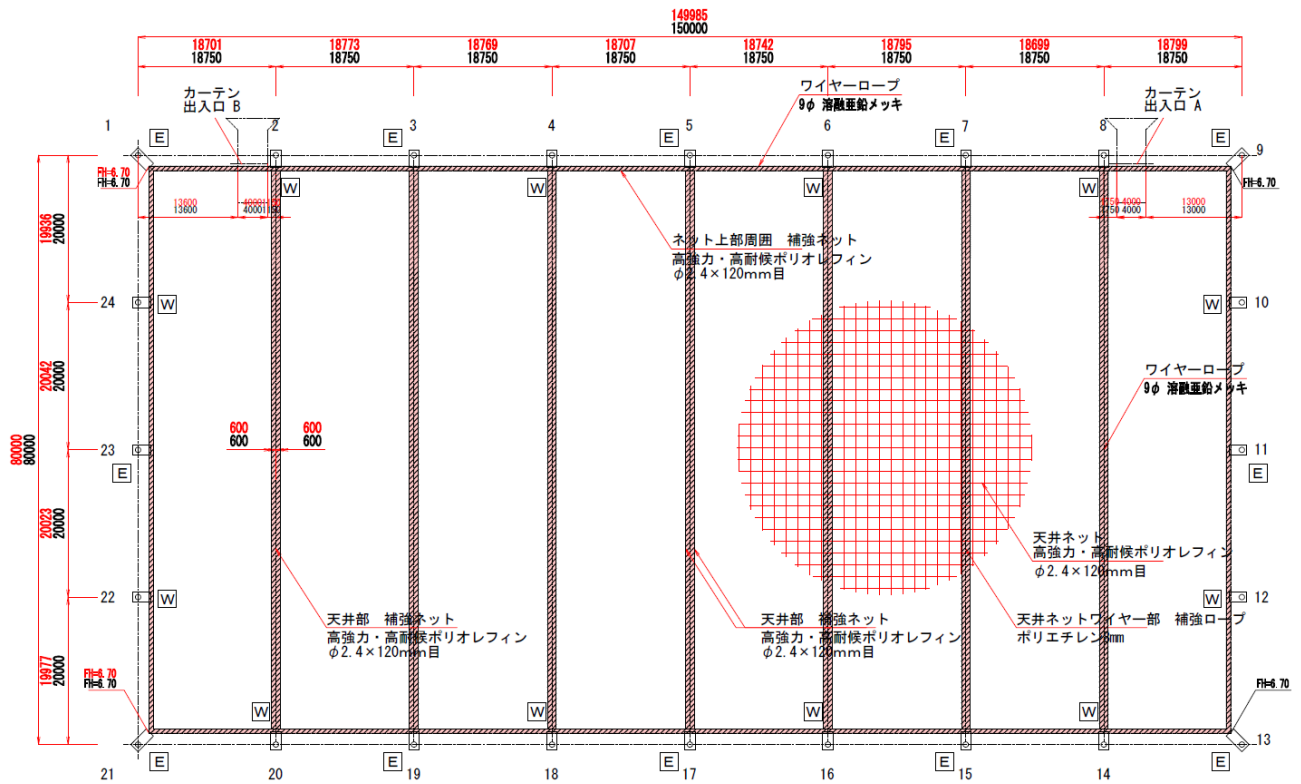
1. 4. 使用事例

- (1) 水素ドローンの飛行試験
- (2) 農薬散布ドローンの散布試験

2. 施設・設備詳細

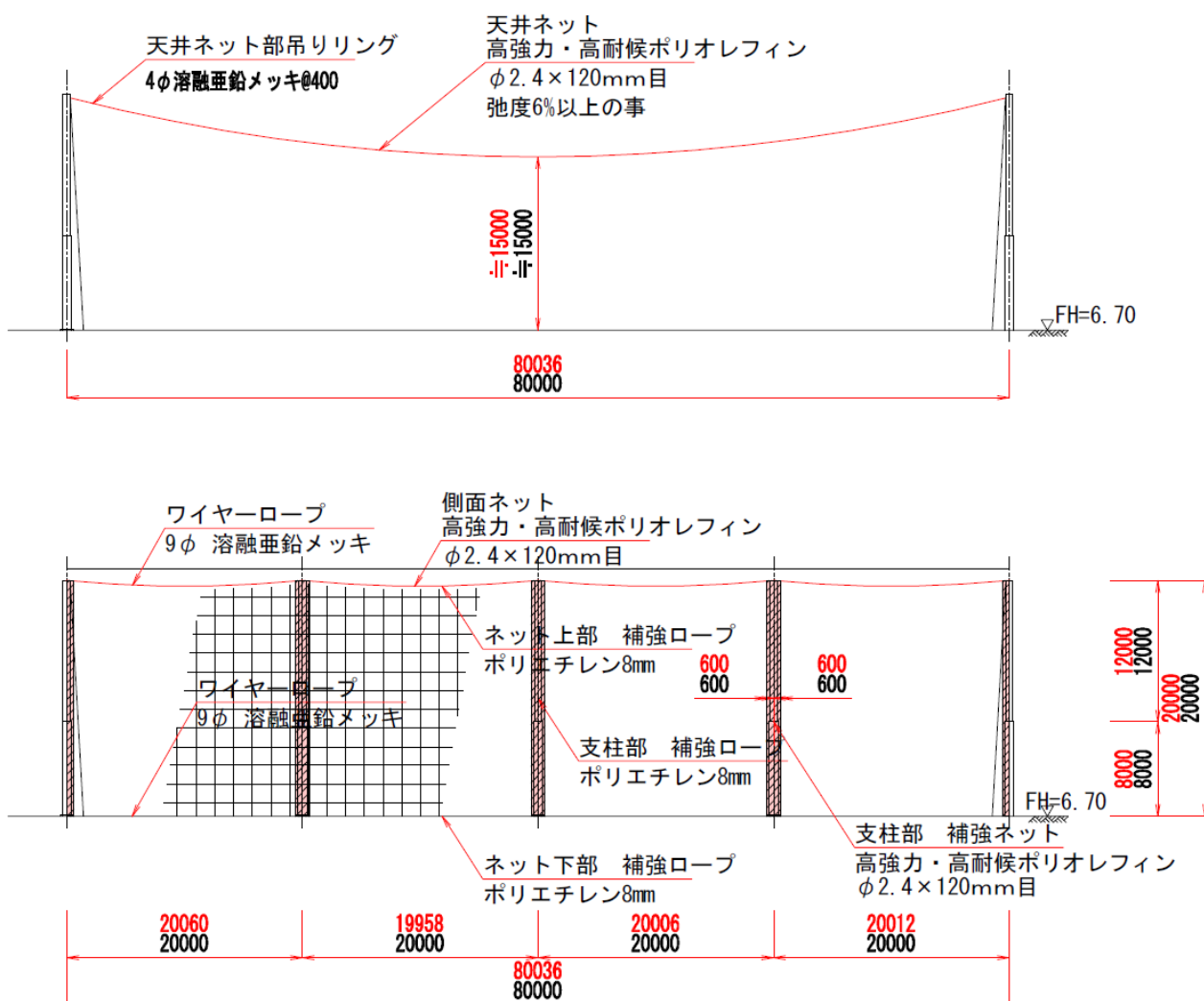
2.1. 建設図面

ア 平面図



※赤字は、実測値

イ 断面図



※赤字は、実測値

2.2. 付属機器と操作手順

(1) ネット集中制御盤（緩衝ネット昇降操作）

緩衝ネット昇降操作は RTF 職員が操作する。（使用者は操作しないこと。）

(2) 照明設備

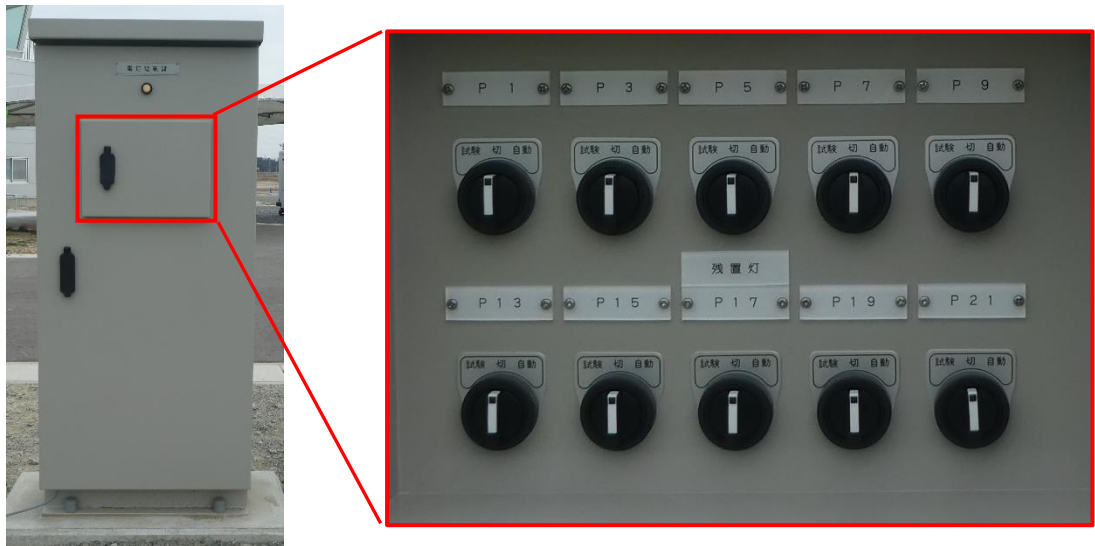
ア 操作

(ア) 点 灯

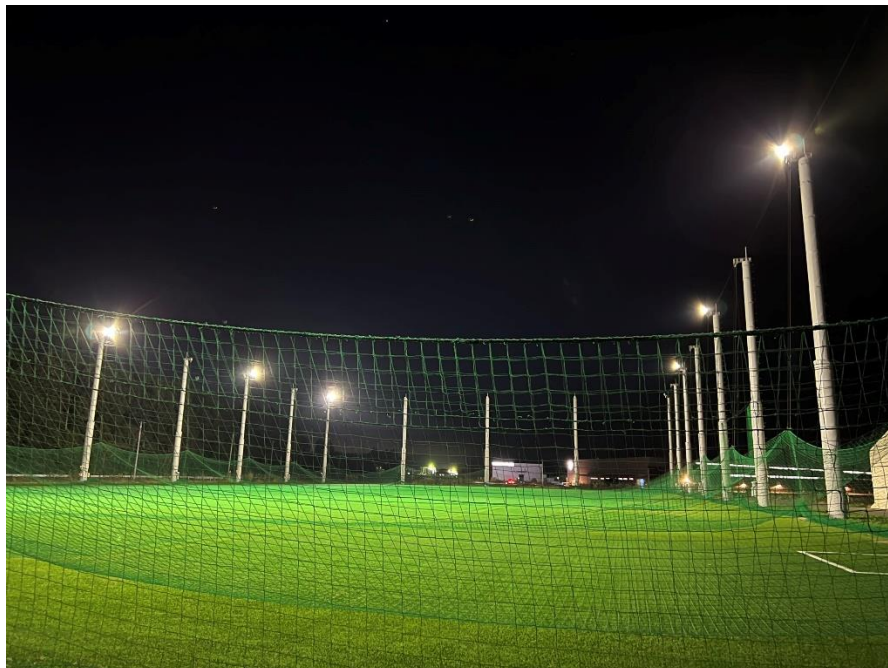
電灯電源盤の「試験一切ー自動」スイッチを試験の位置にすると、スイッチに対応した照明が点灯する。

(イ) 消 灯

電灯電源盤の「試験一切ー自動」スイッチを切の位置にすると、スイッチに対応した照明が消灯する。



電灯制御盤



照明点灯時

イ 注意事項

- (ア) 電灯制御盤の蓋は、操作時以外は閉じること。
- (イ) 使用中に異常を感じた場合は、「試験—切—自動」スイッチを切の位置にするとともに福島ロボットテストフィールド職員へ通知すること。

3 利用上の注意

- (1) 関係法令等及び福島ロボットテストフィールド共通使用規約を遵守すること。
- (2) 施設使用時はヘルメットを常時装着すること。
- (3) 緩衝ネットの昇降作業は RTF 職員が操作するので、使用者は操作しないこと。
- (4) 風速が 15m/s を超える場合、施設の故障防止のため RTF 職員がネットを下げるので、ただちに使用を中止しネット付き飛行場内の機材を撤収すること。
- (5) 緩衝ネット付飛行場内で飛行させる場合は、出入り口のネットを閉めて使用すること。
- (6) 緩衝ネット付飛行場内への車両の進入は、出入り口から白線のラインまでとし、それより中への進入は禁止する。
- (7) 故障などを発見した場合はただちに技術課（0244-25-2476）まで連絡すること。

以上